

# LR独立保証声明書

## アサヒグループホールディングス株式会社の統合報告書 2018 に掲載される 2018 年環境データに関する保証

この保証声明書は、契約に基づいてアサヒグループホールディングス株式会社に対して作成されたものであり、報告書の読者を意図して作成されたものである。

### 保証業務の条件

ロイド レジスター クオリティ アシュアランス リミテッド(以下、LR という)は、アサヒグループホールディングス株式会社(以下、会社という)からの委嘱に基づき、統合報告書 2018 に掲載される 2018 年(2018 年 1 月 1 日~2018 年 12 月 31 日)の環境データ(以下、報告書という)に対して、ISAE3000「監査及びレビュー業務以外の保証業務に関する実務指針」及び温室効果ガス排出量データについては ISO14064-3「温室効果ガスに関する主張の妥当性確認及び検証のための仕様並びに手引」を用いて限定的保証業務を実施した。

LR の保証業務は、会社の国内外のグループ会社を含む連結会社の運営及び活動に対して、以下の要求事項を対象とする。<sup>1,2</sup>

- 会社の定める報告基準への適合性の検証
- 以下の環境指標<sup>3</sup>に関するデータと情報の正確性、信頼性の評価
  - GHG 排出量(スコープ 1<sup>4</sup>、スコープ 2、スコープ 3)(トン CO<sub>2</sub>)
  - エネルギー消費量(電気、熱、燃料)(MWh)
  - 水資源(公共水、工業用水、地下水、河川水、雨水)投入量(m<sup>3</sup>)<sup>5</sup>
  - 排水量(下水道、海、河川、湖沼)(m<sup>3</sup>)<sup>6</sup>

LR の保証業務は会社のサプライヤー、コントラクター及びサードパーティーのデータや情報は対象としていない。

LR の責任は、会社に対してのみ負うものとする。本声明書の脚注で説明されている通り、LR はそれ以外のいかなる義務または責任を負わない。会社は報告書内の全てのデータ及び情報の収集、集計、分析及び公表、及び報告書の基となるシステムの効果的な内部統制の維持に対して責任を有するものとする。報告書は会社によって承認されており、その責任は会社にある。

### 検証意見

LR の保証手続の結果、会社が全ての重要な点において、

- 自らの定める基準に従って報告書を作成していない
- 正確で信用できるパフォーマンスデータを開示していない

ことを示す事実は認められなかった。

この保証声明書で表明された検証意見は、限定的保証水準及び検証人の専門的判断に基づいて決定された。

**注:** 限定的保証業務における保証手続は、合理的保証ほどには高い水準の保証を与えるものではない。限定的保証業務では集計されたデータに焦点を当て、元データを物理的に確認するものではない。その結果として、限定的保証業務によって与えられる保証水準は、合理的保証を行った場合と比べて実質的に低いものとなる。

<sup>1</sup> 海外は、オーストラリア、ニュージーランド、イギリス、イタリア、オランダ、ポーランド、チェコ、スロバキア、ハンガリー及びルーマニア。

<sup>2</sup> スコープ 3 の対象はアサヒビール株式会社及びアサヒ飲料株式会社の日本国内の事業。カテゴリ 8、10、13、14 及び 15 は対象外である。

<sup>3</sup> GHG の定量化には固有の不確かさが前提となる。

<sup>4</sup> スコープ 1 中のメタンデータは、ガスエンジン使用量及び排水量を 2018 年実績、排水濃度を 2018 年 1~3 月実績、4~12 月は 2017 年実績で算定している。

<sup>5</sup> 熱交換による熱利用の取水及び排水については、別項目として算定(628,179 m<sup>3</sup>)し、取水量及び排水量には含まれない。

<sup>6</sup> Albury の排水量は、取水量(上水)から製造量を引いて算定されている。

## 保証手続

LRの保証業務は、ISAE3000とISO14064-3に従って実施された。保証業務の証拠収集プロセスの一環として、以下の事項が実施された。

- 報告書内に重大な誤り、記載の漏れ及び誤りが無いことを確認するための、会社のデータマネジメントシステムを審査した。LRは、内部検証を含め、データの取り扱い及びシステムの有効性をレビューすることにより、これを行った。
- データを集計し、報告書を作成する主要な関係者へのインタビューを実施した。
- サンプルング手法を用いて、集計されたデータの再計算と元データとの突合を行った。
- 集計された2018年のGHG排出量、エネルギー消費量、水資源投入量、及び排水量、並びに記録を検証した。
- データマネジメントシステムの運用状況を確認するため、アサヒ飲料株式会社富士山工場、およびアサヒビール株式会社四国工場、並びにアサヒグループホールディングス株式会社・本社を視察した。

## 観察事項

保証業務における観察事項及び発見事項は以下の通りである。

会社が今後更に報告書における正確性、信頼性を向上することが期待される。特に、水資源投入量及び排水量の自社流量計管理について、精度管理方法の明確化、及び海外拠点のデータについて、内部のデータと報告の対象範囲を管理するシステムを確立することが望まれる。

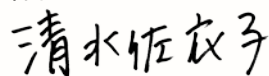
## 基準、適格性及び独立性

LRはISO14065 温室効果ガス—認定又は他の承認形式で使用するための温室効果ガスに関する妥当性確認及び検証を行う機関に対する要求事項、ISO/IEC17021 適合性評価—マネジメントシステムの審査及び認証を行う機関に対する要求事項の認定要求事項に適合する包括的なマネジメントシステムを導入し、維持している。これらは国際会計士倫理基準審議会による国際品質管理基準1と職業会計士の倫理規定における要求も満たすものである。

LRは、その資格、トレーニング及び経験に基づき、適切な資格を有する個人を選任することを保証する。全ての検証及び認証結果は上級管理者によって内部でレビューされ、適用された手続が正確であり、透明であることを保証する。

LRが会社に対して実施した業務はこの検証のみであり、それ自体が我々の独立性あるいは中立性を損なうものではない。

署名



清水 佐衣子

LR主任検証人

ロイドレジスター クオリティアシュアランス リミテッド

神奈川県横浜市西区みなとみらい 2-3-1 クイーンズタワーA 10F

2019年5月10日

LR reference: YKA4005296

Lloyd's Register Group Limited, its affiliates and subsidiaries, including Lloyd's Register Quality Assurance Limited (LRQA), and their respective officers, employees or agents are, individually and collectively, referred to in this clause as 'Lloyd's Register'. Lloyd's Register assumes no responsibility and shall not be liable to any person for any loss, damage or expense caused by reliance on the information or advice in this document or howsoever provided, unless that person has signed a contract with the relevant Lloyd's Register entity for the provision of this information or advice and in that case any responsibility or liability is exclusively on the terms and conditions set out in that contract. The English version of this Assurance Statement is the only valid version. Lloyd's Register Group Limited assumes no responsibility for versions translated into other languages.

This Assurance Statement is only valid when published with the Report to which it refers. It may only be reproduced in its entirety.

Copyright © Lloyd's Register Quality Assurance Limited, 2019. A member of the Lloyd's Register Group.